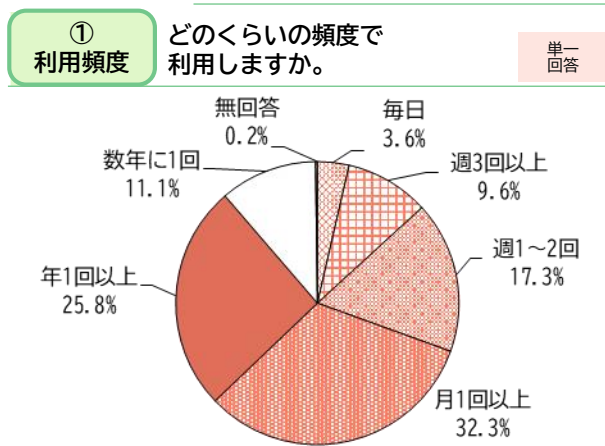


市民アンケート調査の結果について＜概要版＞

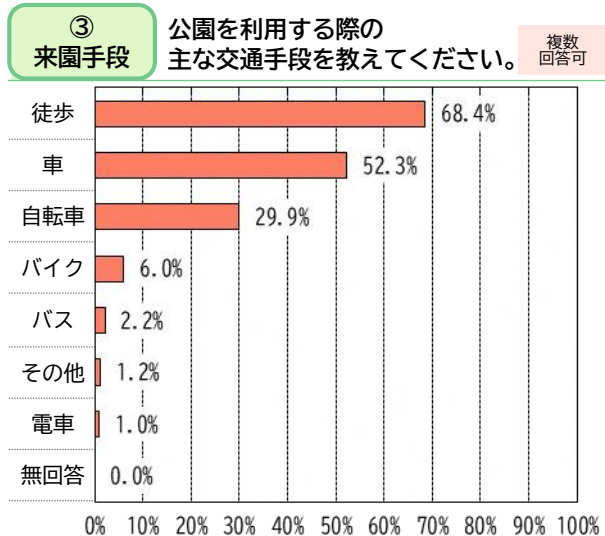
1 調査概要

1 調査目的	対象公園の利用状況や期待する役割の把握
2 調査方法	広報やわた、市HP、SNS等で周知し、以下の方法で回答を受け付けた。
3 回答方法	幅広い年代の方から回答を得るために以下3つの方法により調査を行った。 ①オンラインフォームによる回答収集 ②市内公共施設での回答収集（4施設5箇所） ③郵送やメールでの回答受付
4 調査期間	令和7年7月29日～8月22日（25日間）
5 回収結果	回答回収数 430件 うち ①オンラインフォームによる回答収集 346件 うち ②市内公共施設での回答収集 84件

2 調査結果



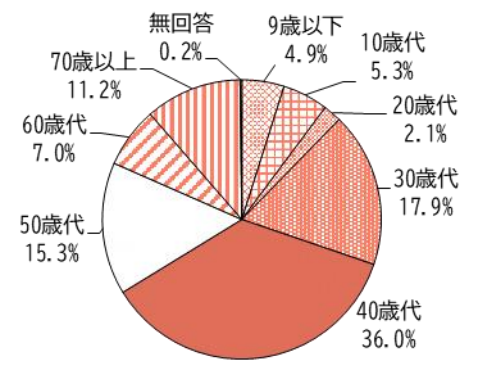
・市内公園の利用頻度は「月1回以上」が32.3%、「年1回以上」が25.8%であり、6割以上の方が月1回以上利用していると回答した。



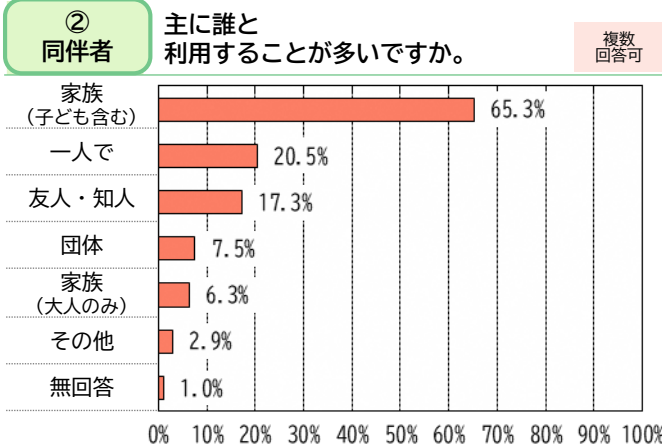
・来園時の主な交通手段は「徒歩」が68.4%、「車」が52.3%、「自転車」が29.9%であった。
・「徒歩」「車」「自転車」以外で来園する回答者は、それぞれ1割未満であった。

6 回答属性

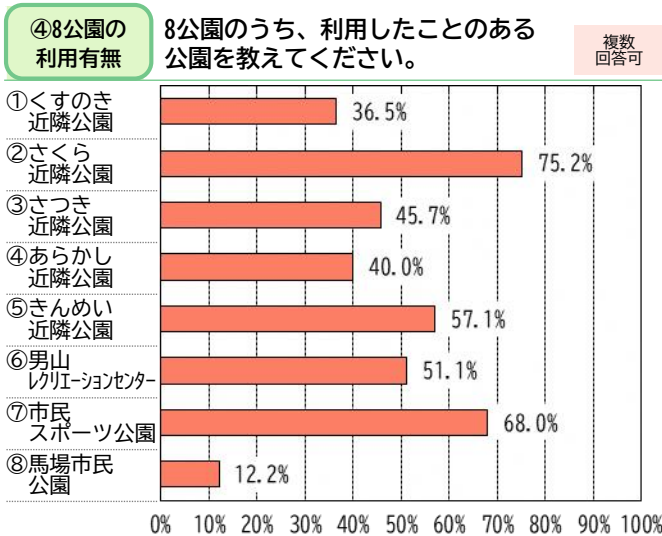
年代構成は以下のとおり。



回答形式は以下のとおり。
・単一回答：あてはまる選択肢を一つ選択(①)
・複数回答可：あてはまる選択肢をすべて選択(②～⑤)



・同伴者について6割以上が「家族(子ども含む)」と回答した。



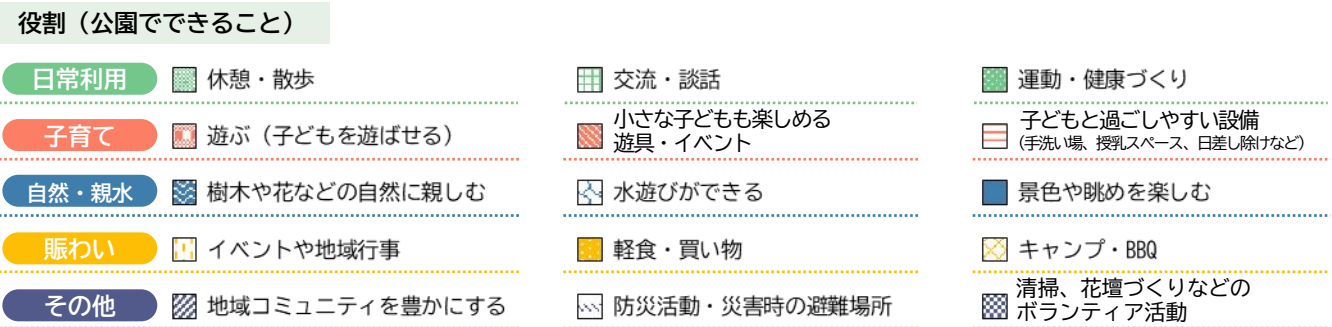
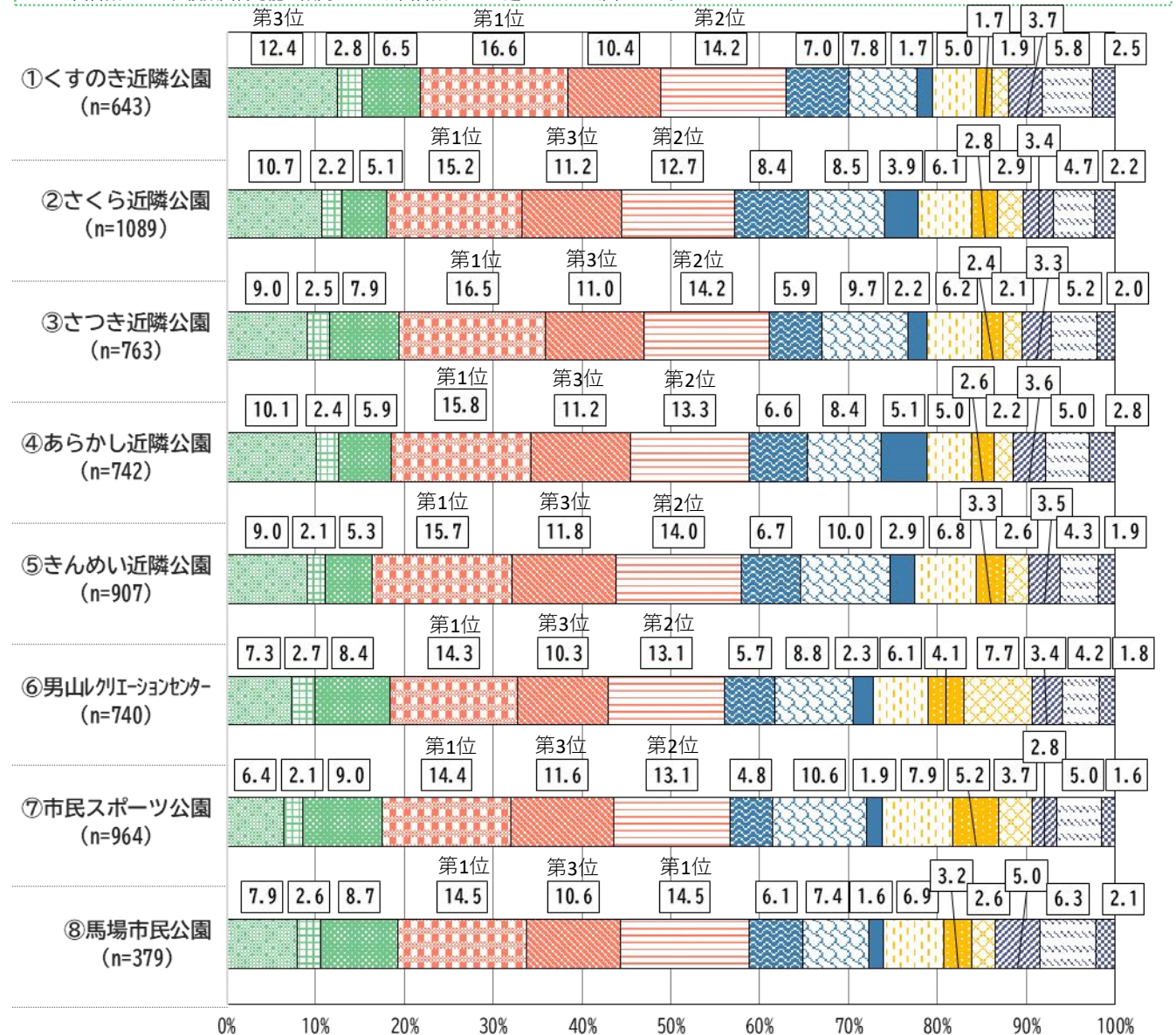
・利用したことのある公園は、回答数の多い順に、「②さくら近隣公園」が75.2%、「⑦市民スポーツ公園」が68.0%、「⑤きんめい近隣公園」が57.1%であった。

⑤ 8公園に期待する役割

8公園に対して今後どのような役割（公園でできることなど）を期待しますか。

複数回答可

・対象の公園は次の8つの公園である。①くすのき近隣公園、②さくら近隣公園、③さつき近隣公園、④あらかし近隣公園、⑤きんめい近隣公園、⑥あらかし近隣公園、⑥男山レクリエーションセンター、⑦市民スポーツ公園、⑧馬場市民公園
・nは回答数である。複数回答可能な設問のため、回答数が430を超えている公園がある。



・8公園ともに、「遊ぶ（子どもを遊ばせる）」「小さな子どもも楽しめる遊具・イベント」「子どもと過ごしやす設備」が最も多く求められており、子育てに関する役割を求める回答が全体の約4割を占めている。
・全体的な傾向として、各公園の特徴や現在の使われ方について、更に充実を望むような傾向が見られる。
【例】③さつき近隣公園：プール
⑤きんめい近隣公園：流水で水遊びができる施設
⑥男山レクリエーションセンター：キャンプ場、BBQ等